

「サイバーセキュリティシンポジウム道後2026」を開催

- 四国総合通信局は、サイバーセキュリティシンポジウム道後実行委員会（委員長：小林真也 松山大学教授）と協働し、**令和8年2月27日(金)・28日(土)の2日間、「サイバーセキュリティシンポジウム道後（通称：SEC道後）2026」**を開催しました。
- 「**多様化・多層化する脅威への挑戦 ～デジタル社会のセキュリティ戦略～**」をテーマに、近年、サイバー攻撃の手法が一層複雑かつ巧妙になる中、安全・安心なデジタル社会の実現に向け、増大する脅威にどのように対抗していくのか、最新の政策動向や技術・手法等について専門家や実務者による講演とともに、参加者同士による多角的な視点からの議論を通じ、サイバーセキュリティ対策への新たな知見やアイデアを創出する機会を提供しました。

【目的・経緯等】

SEC道後は、サイバー空間における情報セキュリティの重要性について広く普及・啓発を図るとともに、地域におけるサイバーセキュリティ人材を育成することを目的に、平成24年から愛媛県松山市において開催しています。

15回目となる今回は、松山大学 文京キャンパスで開催し、全国からセキュリティの専門家など、**のべ約1,300名**(2日間：現地・オンライン)を超える方々にご参加いただきました。

【プログラム】

総務省サイバーセキュリティ統括官の**基調講演**をはじめ、第一線で活躍されている専門家・企業の方々による**講演**や、インシデント被害を最小に抑えるための組織の対応等について考える**パネルディスカッション**のほか、参加者同士の連携と交流を深める**意見交換会**や**ナイトセッション**を実施しました。

ナイトセッションでは、昨今関心の高い4つのテーマ（SCS評価制度／AIセキュリティ（規制・ガイドラインとプロダクトの動向）／セキュリティ保険の現場からみえてくる法律・インシデント対応等の諸課題／マスコミ報道とサイバーセキュリティ）を取り上げ、専門家による現状説明と参加者による議論が行われました。

また、四国管内の学生・教職員を対象に無料でオンライン配信する「**SEC道後キャンパス2026**」を同時開催し、**6箇所のライブビューイング会場**（鳴門教育大学、香川大学、香川高等専門学校、松山大学、新居浜工業高等専門学校、弓削商船高等専門学校）において約55名が視聴しました。

【主催】サイバーセキュリティシンポジウム道後 実行委員会

【共催】松山大学、愛媛県、松山市、総務省四国総合通信局、四国サイバーセキュリティネットワーク ほか

【後援・協力】サイバーセキュリティ戦略本部、経済産業省四国経済産業局、セキュリティ関連団体、テレコム関連団体、教育機関、研究機関、経済団体、等 約20企業・団体

【開催場所】愛媛県松山市（松山大学 文京キャンパスにおいて、ハイブリッド形式で開催）



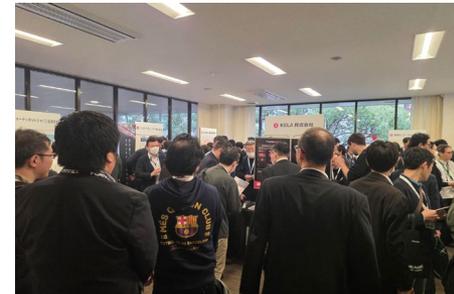
<基調講演の様子>



<パネルディスカッション>



<ナイトセッションプレゼン>



<協賛企業展示ブースの様子>



参加者の声（アンケート抜粋）

- ・セキュリティに関する、実践的な、また今後の動向を踏まえた盛りだくさんの情報が得られてよかった。
- ・インフォスター等、知識としては知っていましたが、思った以上にリスクが高いことが分かって今後の判断基準になりそうです。
- ・パネルディスカッションでは、実際にランサムウェアの被害にあった方から貴重な体験談や今後の教訓が聞けて、有意義な時間となりました。
- ・プログラムの内容に大変満足しており、次回以降のシンポジウムにもぜひ参加したいと考えております。

【お問い合わせ先】四国総合通信局 サイバーセキュリティ室 089-936-5044